



四者合同研修会

福祉活動の取り組みについて

6月から順次、市内19地区において四者合同研修会を実施しています。

この研修会は、昨年実施した三者（民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員）合同研修会の、地域の福祉課題の取り組みには、自治会長との情報共有や連携が必要であるという意見をもとに、自治会長を加えた四者での合同研修会となったものです。

研修会では、地域福祉の推進に向けた社会福祉協議会の取り組みや、「お互いさまの支援活動に向けて」の研修のあと、地区ごとに分かれ、福祉課題に対して、それぞれの役員の立場で何ができるのかを話し合うグループワークを行っています。

6月20日（木）、福住地区で開催された研修会では活発な意見交換が行われ、「自然な形で見守ることが大事」、「出てきた課題に対して、一

人で悩まず多くの人で話し合うことが必要」、「四者で話し合え大変良かった」などの多くの意見をいただきました。

日常の見守りや声掛けが、減災・防災にもつながることや、地域の課題解決に向けて『話し合う』ことが何より重要であり、話し合うことで次につながるべく、地域での福祉課題に対する取り組みや意識について考える良い機会となるよう実施していきます。

contents

- p2 新役員体制
- p3 法人会費、賛助会費のお礼
- p4~5 平成24年度 事業・会計報告
- p6 NEWS福祉
- p7 ファミリーサポートセンター
ボランティア連絡協議会入会ご案内
- p8 情報ボックス

社会福祉法人 篠山市社会福祉協議会 新役員体制



副会長 小林 和子



副会長 青木 御代



副会長 岩谷 晃圓



会 長 平野 芳行

会長就任あいさつ

篠山市社会福祉協議会会長 平野 芳行

炎暑いささかもおとろえません今日このころでございますが、市民皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申しあげます。

このたび、現役員様の任期満了に伴いまして、理事の皆様からご推挙頂き、羽田登喜雄会長から引継ぎまして会長をお引き受けすることになりました。

もとより浅学非才な私ですが、行政での経験を活かしながら、篠山市における地域福祉向上のため、一意専心努力してまいり所存でございます。

篠山市社会福祉協議会は、基本理念として「みんなが主役 支え合うまちささやま」としておりまして、ご高齢の方々・障がいのある方々も含め、一人ひとりの市民皆様が社会の一員として、自己実現を図りながら、安心して暮らせる、豊かな活力ある社会を築いて頂くことが目標です。同会といたしましては、福祉行政分野では補えない社会福祉法人の福祉、つまり市民の皆さんがそれぞれの地域において、事業への主体的な参加を通じて、さらに新しい課題の発見とそれに対応する新しい事業を企画し、その循環の役割を果たしてまいりたいと思っております。

私たち新役員そして職員も一丸となって研鑽を重ね、安全で安心な地域づくりの構築に取り組み覚悟でございますので、今後とも尚一層のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

暑さ厳しい折、市民皆様には、ますますご健康にご留意頂きますようご祈念申しあげまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。

新役員・評議員の紹介

(理事、監事)

任期：平成25年6月29日～平成27年6月28日

役職	氏名	備考
会長	平野 芳行	知識経験者
	青木 御代	知識経験者
副会長	岩谷 晃圓	民生委員児童委員協議会
	小林 和子	知識経験者
理事	小倉 弘子	知識経験者
	河南 輝子	福祉委員代表
	北山佳代子	ボランティア連絡協議会
	久下 隆史	知識経験者
	杉原 一信	社会福祉事業を行う団体
	関口 恵士	
	土性 里花	知識経験者
	中山 保治	
	西田 武司	自治会長会
	畑 雄司	老人クラブ連合会
監事	向井 祥隆	社会福祉法人審査基準の規定に基づく者
	久下 裕紀	知識経験者又は
	田中 良晴	地域の福祉関係者
	井上 公雄	財務諸表等を監査し得る者

(評議員)

任期：平成25年6月23日～平成27年6月22日

役職	氏 名	備 考	役職	氏 名	備 考	
評議員	梶原 弘義	自治会	評議員	細見 頼子	手をつなぐ育成会	
	森口 久			奥田 松子	婦 人 共 励 会	
	高橋 昌道			松尾 俊和	保 育 園	
	宇杉 敬治			谷舗 浩美	ボ ラ ン テ ィ ア	
	波多野恭守			細見みよ子		
	竹林 一三	池田 誠子				
	前田 公幸	行政		野村 由美		
	植村 満	議 会		山内 隆雄		
	小山 辰彦	教 育 委 員 会		清水弘之佑		
	細見 秀司	小学校・中学校・高校		高山 泰造		福 祉 委 員
	森下 直之	民生委員児童委員協議会		岡 彰		
	高家 正孝			池田 忠司		
	幸森 豊			大内 嘉治		
	小谷 芳樹			田中 隆春	保健衛生推進協議会	
	篠塚 二郎	松本 里美		愛 育 会		
	森田美根子	首藤 幸美		老 人 福 祉 施 設		
	河合 岳雄	医 師 会		藤井 正人	障 害 者 福 祉 施 設	
熊谷 勉	老人クラブ連合会	藤本 清仁	企 業 関 係 者			
赤木 侑	身体障害者福祉協議会	原田 豊彦				
清水 充	人権・同和教育研究協議会					

法人会費、賛助会費に ご協力いただきありがとうございました

市内の法人企業様に社協会費を募集させていただきましたところ、厳しい経済情勢にもかかわらず、137社の法人企業様から温かいご支援とご協力をいただくことができました。ここに謹んでお礼申し上げます。

ご協力いただきました会費は、地域福祉の活性化のため有効に活用させていただきます。



社会福祉法人 篠山市社会福祉協議会 会長 平野 芳行

《法人会員》

アイランドフューチャーコーポレーション(株)
芦森工業(株)
アルパインローズビレッジ
(株)イー・エス・シー
石井造園緑化(株)
石橋建設(株)
(株)井上金属製作所
井本スレート(株)
岩崎電機製作所(株)
(株)岩本組
(株)岩本工業
(株)いわや
(株)ウエハラ
上山建設(株)
菟原商店(株)
(株)上見組
(株)エフォート・レジ
大江鋳金(株)
大上観光バス(株)
大木モータース(有)
大阪電研(株)
大西工務店(有)
(有)大西商店
(株)おゝみや
(財)大山振興会
オザワ化成工業(株)
(株)小田垣商店
カクマツモータース(有)
梶谷鉄鋼建設(株)
(株)かね徳篠山工場
(株)狩場タイヤ商会
(株)カルテック
岸本建設(株)
(株)キャピタル製作所
(株)協栄電興
協和(株)篠山事業所
(株)近又
クインオート(株)
栗山米穀(株)
(有)グリーンヒル総合保険事務所
ケアハウス丹波の郷
ケンミン食品(株) 篠山工場
(株)神山組
(有)古杉企画
小西運送(株)
(有)小西のパン

(株)コミナミ
(有)今田製材建築店
(株)酒井工務店
酒井自動車(株)
(有)酒屋くん丹南店
篠山オートセンター協業組合
篠山環境開発(株)
篠山ゴルフ倶楽部
篠山自動車サービス(株)
篠山証券(株)
(有)篠山ツーリスト
(株)篠山ホームガス
三丹物産(株)
(有)獅子銀
ジャパンビレッジゴルフクラブ
栖田内科
諏訪園
摂津味噌(株)
(株)大市住宅産業
高田タクシー(有)
多紀デンソー(株)
武元重機(有)
丹南ゴルフセンター
丹波開発(株)
(株)丹波きのご園
丹波産業(株)
丹波田中畜産(株)
(株)テック
東播パーツ商会(有)
特別養護老人ホームやすらぎ園
特別養護老人ホーム和寿園
(有)ナオ産業
(株)中井工務店
仲田歯科医院
中野医院
(株)中山石渠和田寺霊園支店
にしき記念病院
にしき歯科
(有)西紀モータース
西村建設鋼業(株)
西本土木(株)
ニッコー物流(株)
日章アステック(株) 篠山工場
(有)日昇堂
畑休燃料(株)
(株)畠賢治商店
(有)畠石油店

(株)畑中自動車
畑燃料(株)
(株)波部商店
(株)バラエティーミート西紀古市店
阪鶴工機(株)
光オート・サービス
(株)吹
(株)藤枝研磨工業所
藤本印刷(株)
藤本鉄工(株)
藤本林業所(株)
(株)藤原建具センター
(株)プリテック
フルマインド(株)
フレンド電装(有)
平和発條(株)
鳳鳴酒造(株)
豊菱産業(株)
(株)堀口
本荘自動車(株)
(有)前川運送
(株)マツオ
松下産業(株)
松本水道企画(株)
(有)萬半
(資)三国屋呉服店
(株)みずほ
溝畑組
(有)みたけ
向井金属工業(株)
村上建具(有)
森田商事(株)
森田石材店(株)
(有)山内水道店
(有)山文不動産
(株)山本組
ユニットピアささやま
(株)夢こんだ
夢陶房(株)
吉田自動車工業(株)
吉野ゴム工業(株)
頼金自動車工業(株)
(有)レディースオート篠山

《賛助会員》

(株)創虹社

平成25年6月30日現在 (50音順・敬称略)

事業・会計報告

基本
理念

「みんなが主役 支え合うまち ささやま」

第2次地域福祉推進計画（平成24年度～26年度）の基本理念に基づき、少子・高齢化社会での見守り、支え合い活動の基盤となる「まちづくり地区での福祉活動」を目的とした取り組みを推進しました。

小地域福祉活動を一層充実させ、多様な生活課題や福祉課題に対応する取り組みとして、市行政・地域の福祉関係者と連携し「地区福祉会議」の推進に取り組みました。

地域の福祉関係者や機関・団体が連携し、安全・安心した暮らしのアイテムとしての「地域支え合いマップ」づくりや、一人暮らし高齢者や障がいのある人たちへの見守りや支援が求められています。

古市まちづくり協議会
～古市ふれあい食事会～より



三者合同研修会における地域課題の話し合い

自治会やまちづくり協議会を中心に、地域の福祉課題を協議し、解決に向けた取り組みについて話し合う「地区福祉会議」の開催を提唱し、福祉委員の地域活動の場を創出するなど、継続的な話し合いの場づくりを推進しました。

19地区ごとに地区三者合同研修会も開催し、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員の三者が連携し、顔が見える福祉活動を展開いただく方策を検討し、更に自治会長を加えた4者合同での取り組みが提案されました。

1 地域住民や様々な組織、団体の参加による元気な福祉コミュニティづくり



手話奉仕員養成講座（入門課程）で学ぶ受講生

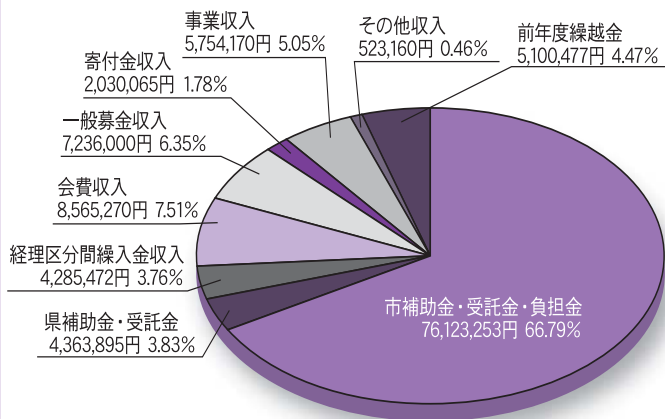
また手話・点字・傾聴ボランティアの養成講座の開設や、旧町支部組織から現状に即応した種別組織への篠山市ボランティア連絡協議会の組織づくりを検討しました。

ボランティア連絡協議会を中心に活動をしている福祉ボランティアや地域の福祉活動をより一層、充実、活性化させるため「市民プラザ」との連携事業「学生サマーボランティア」や、「第2回ボランティアフェスティバル」では災害支援ボランティアに参加した高校生・大学生の活動報告を聞くなど、若者世代のボランティア育成に取り組みました。

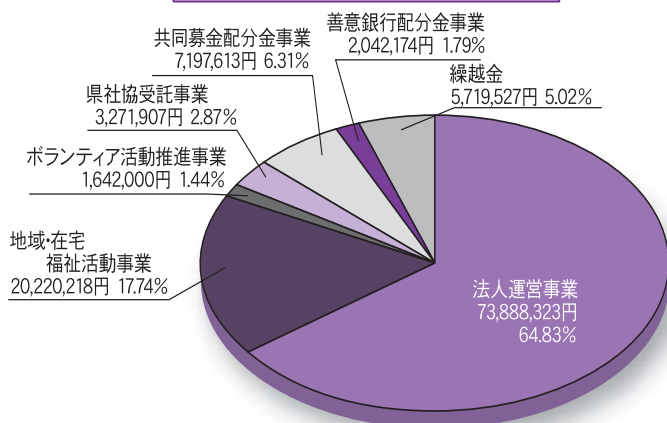
2 地域で活動できる人材の発掘と育成（ボランティア活動の推進）

平成24年度 社会福祉事業会計

収入 113,981,762円



支出 113,981,762円



3 災害時の対応・体制等の整備と強化（各種団体との連携）

市の補助を受け4回の東北震災支援ボランティア派遣を継続し、6月には古市地区の防災訓練に合わせ災害ボランティアセンターの設置、職員防災マニュアルに基づく訓練を行いました。
災害ボランティアセンターの運営支援体制を強化するため、社協内に「災害支援センター」を平成25年度より常設しました。

4 福祉教育・福祉学習の充実

青少年の学校や地域における「福祉教育」、自らがボランティア活動を通じて学ぶ「福祉学習」の場として事業展開を図りました。

- 市内小・中学校
- ・車いす体験7回
- ・アイマスク体験4回
- ・手話体験1回
- ・福祉について（調べ学習）1回



福祉教育推進事業における車いす体験の様子

5 権利擁護意識の高まりを目指すし、事業の整備・充実を図る

「法人後見」「権利擁護センター」の体制整備について、各関係機関と協議、検討を重ね、外部講師を招いての職場内研修を実施しました。
また1月には、先進地でもある宝塚市、川西市への視察研修を実施し、地域住民だけでなく職員自らの権利擁護意識が高まるよう、事業の整備を図りました。

- ・生活支援員意見交流会
- ・権利擁護支援者養成講座（6回シリーズ）
- ・権利擁護市民フォーラム



職員が熱心に演じた啓発劇（権利擁護市民フォーラムより）

食中毒予防

～安心な給食のために～

6月24日、四季の森生涯学習センターにおいて、給食サービス事業の調理ボランティアを対象に、食中毒の予防方法についての知識を学び、安全な給食を届けることを目的とした「食生活の安心と安全に関する講習会」を開催しました。

当日は20名の方々が参加し、丹波健康福祉事務所より講師をお招きし、食中毒の感染経路とその予防方法について講話をいただきました。

食中毒の予防には「食中毒菌を付けない、増やさない、殺菌」という三原則があり、「手洗いと調理器具の洗浄をしっかりとすることが大切」と話されました。



食中毒予防についての講話



手洗い検査で洗い残しチェック

実際に、洗い残しがある箇所に対応する薬剤を用い、手洗い検査を行いました。洗ったつもりでも洗い残しが多くあり、よく泡立てた石けんで時間をかけて洗うことが重要なのです。

参加者からは、「手洗いの重要性がわかった」、「安全な給食を届けるための勉強になった」、「食中毒予防の方法や手洗いを徹底し、利用者に安心な食事をお届けできるような心掛けていきたい」との声が出ました。

これから食中毒の原因菌が多く発生する季節になります。皆さんも食中毒には気を付けてお過ごしください。

福祉教育

in 篠山小学校

平成25年6月21日（金）篠山小学校4年生22名に、1、2時限目を利用して、「福祉ってなに？」と「車いす体験」の2つの内容で授業を行いました。

「福祉ってなに？」では、福祉と一口で言っても、様々な意味合いがあることを伝えました。スポーツ、食べ物、道具、職業など、子ども達に関心のある事と福祉を絡めて紹介することで、興味を持って学べるようにしました。

「車いす体験」では、最初に車いすの使い方を説明した後、実際に校内を回り、車いすを押したり乗ったりを体験してもらいました。ほとんどの児童は車いすに触れることも初めてであり、恐る恐る押していました。最後の方は皆コツをつかみ、上手に車いすの操作ができていました。最後に、「町中で車いすの方を見かけられたら、お手伝いの声かけをしてみてくださいね」と思いやりある行動をお願いしました。

篠山市社協では、福祉教育推進事業として、市内の各学校に対して福祉教育の推進



段差の昇降に挑戦する児童たち

を行っています。主な内容は、車いす体験やアイマス体験の他、福祉に関する様々な授業を行っています。また、市内で暮らされている障がいの方を講師として紹介させていただきます。

「福祉教育をしてみたいが、何をしたらいいのかわからない」、「どこに相談したらいいのかわからない」、という方は、ぜひ、篠山市社協へご相談ください。学校関係者に限らず、自治会やまちづくり協議会からのご相談もお待ちしております。

篠山鳳鳴高校インター
アクト部とPTAが

募金活動

鳳鳴高校インターアクト部は、市内学校の福祉教育に役立てたいと、5月12日に行われた柏原高校と鳳鳴高校のスポーツ交流戦（柏鳳戦）において募金活動を行い、総額11,597円を預託いただきました。

また、鳳鳴高校PTAの皆さんは、6月14日にたんば田園交響ホールで行われた鳳鳴祭（文化祭）においてPTA会員から募った日用品でチャリティーバザーを行い、模擬店のフランクフルトやチヂミ、飲み物の売り上げ金55,989円を福祉活動のために、預託いただきました。



左から雪岡京子さん(人権教育部長)、野口美千代さん(地域国際交流部長)、岩本和也会長

ファミリーサポートセンター

問い合わせ先 ☎590-1388 FAX 590-1123
篠山市ファミリーサポートセンター 担当 林 直美



会報「ファミサポ号」のご紹介

今回は、ファミサポ号に掲載されている会員さんによる絵本の紹介のコーナーをご紹介します。



ファミリーサポートセンター会員向けの会報誌「ファミサポ号」をご存知でしょうか？

平成17年10月に創刊された「ファミサポ号」も40号を迎えました。

現在は、年4回（春・夏・秋・冬）発行され、エッセイやコラム、ファミサポ事業報告、活動の事例報告など、ファミサポ会員さんの協力を得ながら、毎回作り上げています。小さな紙面に、楽しい企画や役に立つ情報が満載です。

「ファミサポ号」は、会員に郵送するほか、公民館、図書館、市民センターなど市内の関連施設に設置しています。いちど手に取ってご覧くださいね。



読んであげたいこんな本 読んでみたいこんな本

日本の野鳥①
くになやこうえんにくるとり



藪内 正幸 文・絵
(福音館書店)

「絵本の会 ぶうぶ」 笹島恵子さん(協会員)
普段よくみかけるスズメ、カラス、ヒヨドリなどがいきいきと描かれています。

鳥の特徴や習性などが一目でわかり、大きな美しい絵は、正確なだけでなく、作者の愛情やさしさにあふれています。

「知識の本としてよりも、絵をみて楽しめる本となるよう努力した」という作者のことば通りで、身近な鳥たちと仲良くなれそうな本です。今年の春、復刊された日本の野鳥シリーズで他に《そうげんのとり》、《やまのとりⅠ、Ⅱ》、《かわやぬまのとり》、《うみのとり》があります。



Vボラナビ

ボランティアのいろいろもつつから発信!!
ボランティアナビゲーション

問い合わせ先 ☎590-1112 FAX 590-1123
篠山市社会福祉協議会 担当 小村美晴

篠山市ボランティア連絡協議会へ入会しませんか!!

平成25年6月より、支部ごとの組織を見直し、種別ごとの組織編成になりました。目的が同じグループ同士になり、情報の交換ができたり、支部という制限がないので、新しいグループが加わりやすくなりました。

また、学生ボランティアや災害支援者の加入も視野にいれ、社会の流れに対応できる組織づくりを目指していきます。

今後、新組織編成の利点を生かし、ボランティアの輪がさらに広がることを、期待しています。

視覚障がい者支援部会

朗読ボランティア「山うぐいす」
篠山点字サークル
朗読ひまわり
朗読ボランティア「松ぼっくり」
丹南点訳アイ・愛サークル

聴覚・精神障がい者支援部会

西紀手話サークルほたる
手話サークル「たんぽぽ」
要約筆記「うりぼう篠山」
今田手話サークル「さざ草」
みちくさボランティアの会

心のバリアフリー部会

生涯学習ボランティア リップルささやま
手芸あじさい
ボランティアグループ「万華鏡」
平成グループ
みつばちグループ
岡野太鼓
傾聴ボランティア「ラビット」

給食ボランティア部会

給食福祉サービス「水曜会」
給食福祉サービス「金曜会」
西紀給食配送サービス
フライパン
コスモス配送グループ
コスモス友愛絵手紙グループ
ひまわりグループ「ピーチ」

在宅福祉部会

ねんりんボランティア「ゆりの会」
在宅福祉すずらん
ホットくりから
ボランティアグループすみれ会
千年もみの会
ボランティアグループ波賀尾

施設・子育て支援部会

介護ボランティアやまゆり
ねんりん丹南
ボランティアグループ「ほほえみ」
今田中年婦人の会福祉活動グループ
保育ボランティア「コアラ」
保育ボランティア「きらら」

入会されると

活動助成金があります
(登録人数により異なります)

ボランティア活動センター
(丹南健康福祉センター内)
が利用できます

●篠山市ボランティア連絡協議会組織図●

善意銀行だより

6月1日～30日預託分

（敬称略）

－ 金銭預託 －

井関道夫（曾地奥）
松本美千代（井ノ上）
円応教篠山教会
味間南
篠山鳳鳴高校PTA
善意の募金箱

善意の預託・・・20,000円
善意の預託・・・3,000円
善意の預託・・・15,000円
善意の預託・・・4,627円
善意の預託・・・55,989円
善意の預託・・・317円

－ 指定預託 －

篠山鳳鳴高校インターアクト部
福祉教育助成金・・・11,597円

－ 物品預託 －

芦田富基子（今田町芦原新田）鉢植えの花 8鉢
・・・・・・今田地区ひとり暮らし高齢者
飯田成代（垣屋） 折り紙細工給食サービス
西澤昭美（栗柄） 折り紙細工給食サービス
小谷重二（知足） ほうれん草 3kg、えんどう豆21kg、
大根31kg、玉ねぎ70kg給食サービス
酒井京子（郡家） 保険証入53枚、ティッシュカバー44枚、
鍋つかみ34セット給食サービス利用者
細見茂子（本郷） えんどう豆6.2kg給食サービス
匿名 米30kg給食サービス
匿名 すだれ240枚市内特別養護老人ホーム、他

社協Day～地域福祉力パワーアップ研修会、社協活動紹介～

災害にも強い、一人ひとりのいのちを守る地域づくりは、身近な地域での見守りや声かけ、支え合いが基本であり、それは社協が推進する地域福祉の原点でもあります。福祉委員をはじめとした地域福祉活動実践者が、やりがいを感じ、今後の活動の参考や原動力となる研修会を開催し、元気の福祉コミュニティづくりを目指します。

テーマ いのちを守る地域づくり

～災害時お互いさまの支援活動に向けて～

日時 平成25年9月1日（日）

開会 13時～16時30分（受付12時30分～）

場所 篠山市民センター（黒岡191）多目的ホール、催事場1、2
対象者 自治会長、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員、ボランティア等、地域福祉活動の実践者または関心のある方

内容 (1) 地域福祉活動 実践発表
(2) 講演「いのちを守る地域づくり～東日本大震災被災地での生活支援の状況と今、地域で取り組むべきこと～」
講師：宮城県サポートセンター支援事業所
アドバイザー 浜上 章 氏
(3) 社協事業や福祉団体の活動紹介コーナー（催事場1、2）

主催 篠山市社会福祉協議会

共催 篠山市福祉委員連絡会

問い合わせ先 担当 奥山彩子
TEL 590-1112

篠山市ファミリーサポートセンター

第3回 交流会（全会員対象）

子ども一時預かり“かんがるー”

と き：8月20日（火）・9月18日（水）

※10:00～12:00（受付9:45～）

ところ：四季の森生涯学習センター東館 和室（2F）

定 員：10名（生後6ヵ月～就学前のお子さん）

利用料：子ども1人につき 1回500円

申込締切：各実施日の1週間前までにお申し込みください

※利用には申し込みが必要です。
※定員になり次第、締め切らせていただきます。

～詳しくはファミサポまで～

申し込み・問い合わせ先
篠山市ファミリーサポートセンター
TEL 590-1388 担当 林 直美



多肉植物の寄せ植えワークショップ

珍しい多肉植物の寄せ植えワークショップです。どんなでも簡単にかわいい作品ができますよ。お好きな植物を選んで、お気に入りの容器に植えます。容器は、お家にある物の持ち込みも可能ですので、申し込みの際にご相談ください。今回の交流会は、時間制になっています。各時間、先着順で受け付けます。

と き：平成25年9月13日（金）

① 10:00～11:00 定員10名

② 11:00～12:00 定員10名

ところ：四季の森生涯学習センター 東館

講 師：石角 京子さん（京都府綾部市在住）

参加費：材料実費

持ち物：エプロン、紙袋

託 児：あり（10名まで要予約）

申込締切：8月30日（金）



数年前、信州の穂高岳登山を計画し、山小屋に予約の電話を入れました。宿主に、宿泊日と登山ルートを確認し、「初心者には無理。山は逃げません。十分訓練と経験を積んでから来てください」と、電話で断られました。7月1日、世界文化遺産に登録された富士山も山開きを迎え、登山客でにぎわっています。中には夕方から登山を始め、朝陽を見て下山と云う強行登山に、山岳関係者は、警鐘をならしています。富士山に登りたいと思いつつ、宿主の言葉が忘れられず、いまだ近場の山に登っています。

あとがき

心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

と	き	と	ころ
8/2（金）	9:00～11:30	丹南健康福祉センター	
8/9（金）	9:00～11:30	篠山市民センター	
8/16（金）	9:00～11:30	丹南健康福祉センター	
8/23（金）	9:00～11:30	篠山市民センター	
8/30（金）	9:00～11:30	丹南健康福祉センター	